

健康福祉の地域力が充実した社会へ



施策の方向

1 新しい支え合いの推進

地域の課題を解決するため、地域における多様な主体が連携・協働し、支え合う仕組みづくりを進めます。

2 人にやさしい街づくりなど地域で安心して暮らせる環境づくりを推進します

3 ソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)の推進

県民一人ひとりが、自分で望んでいる地域で、自分らしく生き、心豊かに、幸せに暮らしていけるよう、社会の構成員として共に包み支え合うための仕組みづくりを進めます。

新しい支え合い

地域の課題解決の主体は、住民、町内会等の地縁組織のほか、民生委員・児童委員、ボランティア、NPO、学校、PTA、社会福祉協議会、福祉サービス事業者、医療機関、各種協同組合、企業や商店街、行政などが考えられます。そのような主体が、地域の生活課題に対し、連携して対応していく仕組みづくりを行うことにより、人と地域に新たなつながりが生まれます。こうしたつながりによる助け合いが「新しい支え合い」です。

ソーシャル・インクルージョン

すべての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につながるよう、社会の構成員として包み支え合う理念のことを指します。

地域のネットワーク構築

取組例

高齢者や子ども・子育て家庭、障害のある人が地域で安心して暮らせるよう、地域におけるネットワークを構築します。

- 高齢者の地域見守りネットワーク構築に向けたモデル事業の実施・普及
- 子育て情報・支援ネットワーク構築への支援
- 各障害福祉圏域への相談支援に関するアドバイザーの配置
- 福祉系NPOの先進地である知多半島を参考としたネットワーク構築に向けての仕組みづくりなど

